



Kitakyushu Action!

動かせ、未来。北九州市

北九州市・新ビジョン

北九州市基本構想・基本計画

概要版

令和6年3月策定

北九州市政策局

北九州市・新ビジョンの全体版は市ホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/28500266.html>



Vision

北九州市が目指す都市像

つながりと情熱と技術で、 「一歩先の価値観」を体現する グローバル挑戦都市・北九州市

ひとの数だけ、スポットライトがある。
だれもが主人公になって、イキイキと
自分の人生をもっと好きになって進んでいく。

一人ひとりに宿る力を、
もっと支え、挑戦を後押しできる都市へ。
積み重ねてきた歴史を、
脈々と継承し、新しい価値を生みだせる未来へ。

多様な個性がまざりあい、つながりあうからこそ
生みだされる価値は、日本のみならず世界へと大きく広がり、
だれもが豊かで安らげる未来をつくっていく。

つながりと情熱と技術で、
「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市へ。
さあ、愛さずにはいられない未来を、北九州市から。

Philosophy

目指す都市像に込めた思い



つながりと情熱と技術

北九州市は、市民一人ひとりがその持てる力を最大限に発揮し、未来へ歩みを進める上で、これからも大切にすべき北九州市の強みや誇りを、これまでのまちの歴史や都市のDNA(特性)、市民の気質などから、人と人との「つながり」、熱い「情熱」、ものづくりや環境の「技術」力の3つに凝縮しました。



一歩先の価値観

北九州市は、これまで「つながりと情熱と技術」で幾多の困難を乗り越え、その先にある「一歩先の価値観」として、「利他の精神」、「能力開花」、「持続可能」を体現してきました。
これからも少子高齢化・人口減少などの社会課題に挑戦し、克服していくことにより、市民が幸せを感じ、誇りを持ち続けることができる、新たな「一歩先の価値観」を体現できるまちであり続けます。



グローバル挑戦都市

北九州市は、官営八幡製鐵所をはじめ、世界に挑戦する企業を生んできたまち、また、それを支える中小企業や人材を輩出してきた輝かしい歴史のあるまち、そして、環境先進都市として世界をけん引してきたまちです。
これからも世界に先駆けて新たなことに挑戦し続けるという北九州市の歴史やDNA(特性)を守り、引き継ぎ、未来へ歩みを進めています。

**Kitakyushu
Action!**
動かせ、未来。北九州市

北九州市・新ビジョンのロゴ

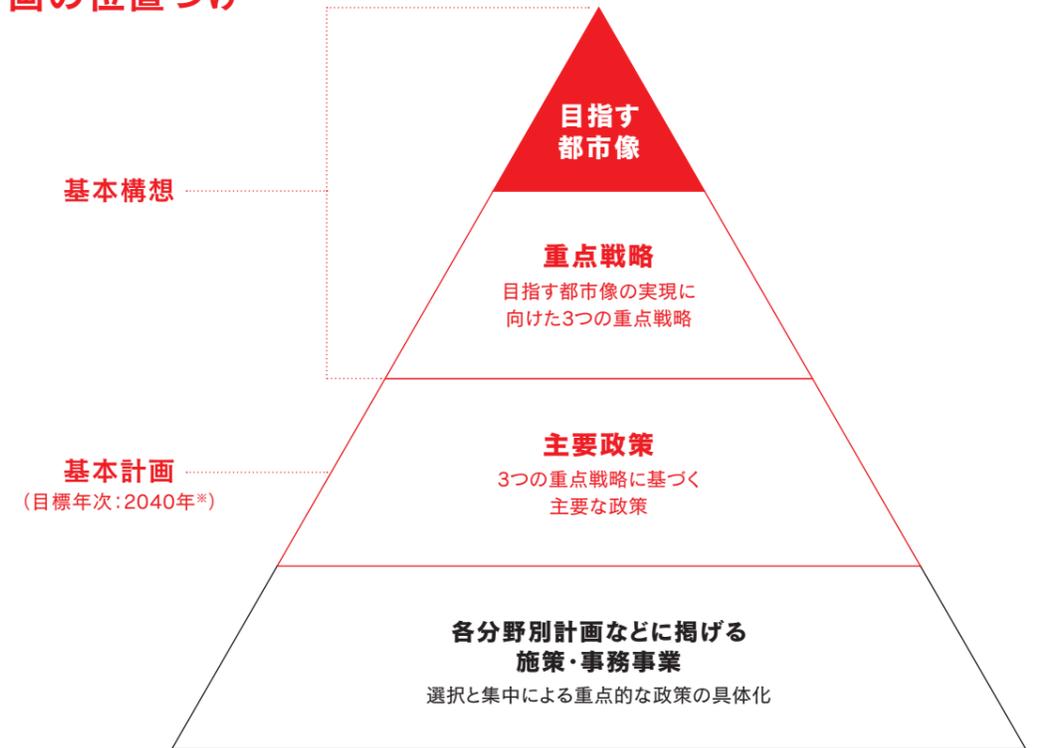
行動が、未来を動かす。
北九州市は「Action!」を合言葉に、未来の社会のために行動します。
ロゴの色は、パワフルで情熱的な赤を使用。
市民の皆さんと一緒に、一歩ずつ未来を動かす意志をデザインしています。
つながりと情熱と技術で進み続けるグローバル挑戦都市・北九州市を
市民の皆さんと一緒に目指します。

目次

北九州市・新ビジョン 北九州市基本構想・基本計画

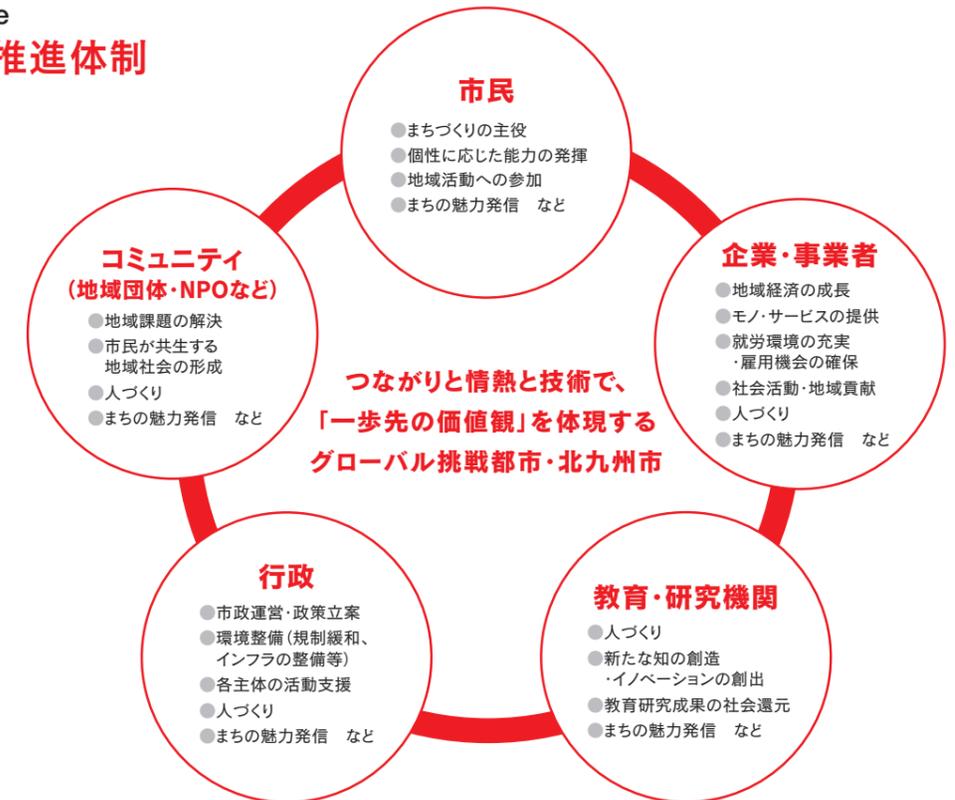
- 計画の位置づけ 04
- 計画の推進体制
- 3つの重点戦略と「成長と幸福の好循環」 05
 - I 「稼げるまち」の実現 07
 - II 「彩りあるまち」の実現 09
 - III 「安らぐまち」の実現 11
- 成果指標 13
- 人口増に向けた道筋 15
- Topic | 北九州市・新ビジョンの策定における市民参画 16
- 7つの個性が輝くまちづくり 17

Positioning 計画の位置づけ



※毎年度、行政評価により、達成状況を把握。計画の進捗状況などに応じて、概ね5年ごとに内容を検証し、適宜、計画の見直しを行うこととします。

Structure 計画の推進体制



3つの重点戦略と 「成長と幸福の好循環」

目指す都市像の実現に向け、重点的に取り組むべき方向性を示した3つの重点戦略を定めました。都市の経済力を高める「稼げるまち」の実現を起点に、心豊かな生活に対する多様なニーズに応える「彩りあるまち」の実現や、誰もが日々の暮らしに安心と安らぎが感じられる「安らぐまち」の実現につなげ、まちも人も潤う「成長と幸福の好循環」を創り出し、都市の総合力を高めていきます。

つながりと情熱と技術で、
「一歩先の価値観」を体現する
グローバル挑戦 都市・北九州市

3つの重点戦略

- I 「稼げるまち」の実現
- II 「彩りあるまち」の実現
- III 「安らぐまち」の実現

「彩りあるまち」の実現により、人々は自分らしさやそれぞれが望む生活を
楽しみ、安らぎを感じることができる。

II 「彩りあるまち」の実現

多様なライフスタイルニーズの高まりに応えるため、民間の投資や開発などを喚起し、魅力的な街並みや住環境、教育環境、文化芸術・スポーツに接する環境、観光などのコンテンツを充実させ、自分らしさを大切にできる、多様な選択肢があるまちを実現。

「稼げるまち」の実現により、収入の増加や消費意欲の喚起が生まれ、まちの活力やにぎわいの創出、物心両面での多様なライフスタイルへのニーズが向上。

I 「稼げるまち」の実現

北九州市の魅力年全国に発信し、北九州市を訪れ、その魅力に触れて、関心を高め、体験してもらおう取組を強化。また、未来産業の集積や、市内企業の生産性向上、スタートアップの創出など、企業活動の進出や拡大を通じて、誰もが活躍できるまちを実現。

循環の起点(最優先課題)



III 「安らぐまち」の実現

「稼げるまち」や「彩りあるまち」の実現による“成長の果実”により、生活の基盤である安全・安心な暮らしを確保・充実するとともに、人々がお互いを尊重し、支え合い、心豊かに暮らすことができるまちを実現。

安心して未来に向かって進んでいくことができる「安らぐまち」の魅力により、市外からもさらに人が集まり、集まった人々が定着するまちへ。



「稼げるまち」の実現

稼げる「基盤」をつくる

(1) 陸・海・空のネットワークの構築

北九州空港における滑走路3,000m化や路線の維持・拡充、アクセスの強化のほか、下関北九州道路の早期整備などによる道路網や北九州港における物流機能の充実・強化、カーボンニュートラルポートの整備などに取り組みます。



北九州空港



下関北九州道路イメージ

(2) メガリージョンの推進

福岡市や下関市を含めた北部九州エリア全体で大規模都市圏 (Greater北部九州圏) を形成することで、アジアを見据えた産業や人材の集積、観光誘客、都市インフラ整備などを推進します。

(3) 新たな産業用地などの創出

企業誘致の受け皿となる新たな産業用地を創出するため、官民連携による先進的な事業手法の導入 (規制緩和) や土地利用規制の見直しなどを推進します。

稼げる「人」を育む

(1) スタートアップの創出・成長

スタートアップ企業や人的資源の創出・成長の支援のほか、創造性や実行力を育むアントレプレナーシップ (起業家精神) 教育を小学生期から推進します。

(2) 若者のチャレンジへの支援

学生がまちづくりや社会課題に主体的に関わる機会の創出のほか、学生の基礎的なデジタルスキルの取得・向上や、若者の地元就職を促進します。

- シン・シティ創造事業
- 学生の地元就職促進事業
- 北九州市立大学への支援 など



(3) 性別にかかわらずキャリア形成の支援

地域における子育て支援や在宅生活を支える介護サービスの充実を図るとともに、仕事の継続や復職の意欲向上に向けた取組や、働き方改革などを推進します。

(4) 多様な人材が働くことができる環境の整備

デジタル分野をはじめとしたリスクリングや就労情報の提供、企業における就業環境の整備、健康経営などの理解を促進します。また、外国人材の日本語能力や技能・技術を向上させることで、さらなる活躍や定着につながるよう支援します。



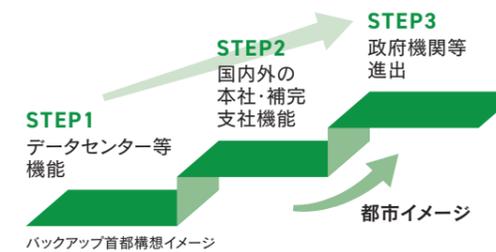
産学官民の連携により、陸・海・空のネットワークの構築や近隣自治体との連携などの「稼げる基盤」を強めるとともに、多様な人材の就業や起業を後押しする「稼げる人」の育成を進めていきます。また、若者に魅力ある企業の誘致、民間主導による、企業の魅力や生産性の向上、新規分野のビジネス展開などにより、「稼げる産業」を創出していきます。

こうした取組によって、都市の経済力を高めることで、「人も企業も潜在力を開花できるまち」を目指していきます。

稼げる「産業」をつくる

(1) 「バックアップ首都構想」の推進

災害時においても日本を支えるための拠点として、首都圏企業の本社機能やデータセンターなどのバックアップ機能を集積します。また、若者が魅力を感じるITなどの分野や海外企業の誘致に取り組みます。



(2) 成長の芽となる「未来産業」の振興

将来の市場拡大が予測される、半導体や次世代自動車、宇宙などの未来産業の育成・集積に取り組みます。



半導体

(3) 「北九州グリーンインパクト」の推進

環境と経済の好循環によるグリーン成長を目指し、風力発電関連産業の総合拠点形成、水素の供給・利活用拠点化、サーキュラーエコノミー (循環経済) の推進などに取り組みます。こうした取組により、グリーン産業のさらなる集積や市内企業の国際競争力の強化を図る「北九州グリーンインパクト」を推進します。



洋上風力発電

(4) 物流拠点構想の推進

陸・海・空の結節点周辺エリアを中心に物流関連施設の集積を図ることで、物流の活性化や物流関連施設などへの民間投資の呼び込み、新規雇用の創出に取り組みます。



北九州市物流拠点構想イメージ

(5) 生産性向上・高付加価値化の推進

企業のDX推進やAI・ロボットの活用、健康経営の取組、成長分野などへの事業転換を支援します。また、中小企業への伴走支援のほか、農林水産業における地域生産物のブランド化やスマート技術の導入などを支援し、担い手不足の解消や所得の向上を目指します。



北九州市ロボット・DX推進センター

(6) アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進

国内環境関連企業の市内集積や海外からの投資を呼び込むことにより、環境国際ビジネスの拠点となる「アジア・グリーン共創ハブ」を推進します。また、先進的な介護システムなどをアジア地域に技術移転することで、社会課題の解決に貢献し、国内外から企業や投資を呼び込みます。



海外の環境関連企業と連携協定締結



「彩りあるまち」の実現

彩りある「空間」をつくる

(1) 都市の魅力を高める「街並み」づくり

小倉地区などを中心に「ウォークアブル」なまちづくりを官民連携で推進し、にぎわいのある空間を創出するとともに、心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備に取り組みます。また、緑豊かな美しい都市景観の形成やまちの魅力発信、魅力ある商業の振興を推進します。



こどもまんなか公園づくりの推進



巨過地区再整備事業



道路空間を活用したまちの賑わいづくり

(2) 選ばれる「住まい環境」づくり

多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備を推進します。また、関係者との連携・協働などにより、公共交通の利便性と持続可能性を高めます。



折尾地区総合整備事業

(3) デジタルによる「迅速で便利・快適な環境」づくり

革新的なデジタル技術などを活用して、行政サービスや市役所の業務を抜本的に見直すDXを推進します。



書かない・待たない・行かなくていい
区役所の実現を目指す
スマらく区役所サービスプロジェクト

(4) 人や企業を呼び込む「都市の魅力」の発信

北九州市の多彩な魅力の戦略的な発信や、良質な子育て環境についての発信などにより、都市のイメージアップを図り、シックブライドを醸成するとともに、国内外から人や企業を呼び込みます。



シティプロモーション推進事業



こどもまんなかcity推進事業

民間投資を喚起しながら、魅力的な街並みや生活環境などの「彩りある空間」の整備を進めるとともに、文化芸術やスポーツの振興、観光地の魅力向上などにより、市内外の人々が「彩りある時」を体感できる環境を整備していきます。また、多様で質の高い教育環境の充実により、子どもたちの個性を尊重し、将来の可能性を引き出して「彩りある人」を育みます。

こうした取組によって、自分らしさを大切にできる多様な選択肢をつくることで、まちへの「愛着」や「求心力」を高め、「輝く個性と楽しさがあふれるまち」を目指していきます。

彩りある「時」をつくる

(1) 文化芸術やスポーツの振興

文化芸術の維持・継承・発展に取り組むとともに、文化芸術やスポーツに親しめる環境づくりやプロスポーツなどと連携したまちづくりを推進します。また、デジタル技術などを活用した文化芸術やスポーツの振興に取り組みます。



ギラヴァンツ北九州ホーム開幕戦

(2) エンターテインメントによるにぎわいづくり

大型のコンサートやスポーツ大会の誘致のほか、主催者が多様なイベントを開催しやすい環境づくりに取り組みます。また、漫画やアニメなどのポップカルチャーのほか、アーバンスポーツの普及など、若者にとって魅力のあるまちづくりを推進します。

(3) 観光資源の磨き上げや発信の推進

地域の歴史や文化、自然、産業、食などの資源を磨き上げ、組み合わせて発信していきます。また、規制緩和による新たな観光機能の創出、MICE誘致の拡大や富裕層向けの宿泊機能の確保など、質の高い観光サービスを提供します。



「祭り」などを生かした
NEWツーリズム創造事業



インバウンド誘致強化事業



食をフックにした宿泊・周遊促進

彩りある「人」を育む

(1) グローバル人材や理工系人材の育成に向けた教育の推進

子どもの頃からの外国語や国際理解教育、理工系教育などの先端的教育が受けられる環境づくりを推進します。



外国語授業



ICT学習



スー1★グランプリ

(2) 魅力ある新時代の教育機関の誘致

多様で質の高い、個性を生かす教育へのニーズに応えるため、国内外の私立学校やインターナショナルスクールなどの誘致実現に取り組みます。

(3) 将来の可能性を開く教育環境の充実

家庭や地域、企業と連携しながら子どもの可能性を引き出す「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実に取り組みます。

(4) 大学などの教育・研究機能の充実

市内大学などがそれぞれの強みや特色を生かすとともに、連携を図ることで、人材育成機能や研究開発機能を強化し、学生が持続可能で質の高い教育・研究を享受できる環境づくりを促進します。



「安らぐまち」の実現

生活基盤の「安心」を支える

(1) 災害などに強いまちづくりの推進

災害に強いコンパクトシティの形成や河川の治水・浸水対策などを図るほか、デジタル技術を活用しながら、地域全体で防災力を高める取組を推進します。



調整池の整備 (治水・浸水対策)



消防活動用ドローン

(2) 犯罪のないまちづくりの推進

市民の防犯意識の向上や防犯カメラなどの防犯環境の整備を図ります。また、暴力団ゼロのまちの実現や多様化する犯罪集団への対策を強化し、安全・安心なまちとしての情報発信をさらに強化します。

(3) 社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持
公共施設の集約再配置や予防保全の強化、社会インフラの長寿命化に向けた点検・工事の推進などにより、都市基盤・施設の維持に取り組み、持続可能で安全・安心なまちづくりを進めるとともに、デジタル技術などを活用した維持管理の高度化・効率化を図ります。



公共施設の長寿命化工事

子ども・子育ての「安心」を支える

(1) 安心して生み育てることのできる環境の整備

妊娠から出産、子育て期における、切れ目のない支援などの維持・拡充に取り組むとともに、保育関係者、地域などと行政の連携やデジタル技術の活用により、安心して子どもを生み育てることができる環境を整備します。

- 第2子以降の保育料無償化
- シン・子育てファミリーサポート事業



(2) 子どもの健やかな成長への支援

質の高い幼児教育・保育サービスの提供とともに、放課後児童クラブなど多様な居場所づくりを推進します。また、社会的養護が必要な児童への支援や児童虐待の対策、多様な学びの機会の確保による安全・安心な居場所づくりなど、子どもたちを社会全体で見守り、健やかに育む環境づくりを進めます。

防災や防犯のまちづくり、社会インフラの維持など「生活基盤の安心」を支えることをベースに、質の高い福祉や介護、医療などのサービスが提供されるとともに、多様性を認め合いながら、地域のつながりを感じることができる「暮らしの安心」を支えていきます。また、希望する人が安心して出産し、育児や子どもの成長を社会全体で支える「子どもや子育ての安心」を感じることができる環境を整備していきます。

こうした取組によって、まちの「住みよさ」を高めることで、「誰もがつながるアットホームなまち」を目指していきます。

暮らしの「安心」を支える

(1) 多様性を認め合う文化のまちづくり

人権教育や人権啓発、ジェンダー平等社会の構築、多文化共生の理解促進などに取り組みます。



(2) 誰もが安心して暮らせる環境づくり

デジタル技術を活用した、保健・医療・介護・福祉サービスの維持・充実や、支援が必要な人を地域全体で見守り、支え合うネットワークの強化、相談支援体制の整備に加え、公共交通の不便地域などにおける移動手段の確保を図ります。



先進的介護「北九州モテル」推進事業

(3) 地域医療提供体制や保健衛生管理体制の充実

デジタル技術も取り入れた救急医療体制の維持など、市民が安心して医療を受けられる体制を確保・充実するほか、新たな感染症拡大による危機に備えた仕組みづくり、食の安全や生活環境の衛生の確保に向けた監視・指導に取り組みます。



ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業

(4) 地域におけるコミュニティ活動などの活性化

地域におけるコミュニティ活動を維持するとともに、社会貢献意識が高い若者やNPO、子育て・現役世代なども地域活動に参加しやすい仕組みの強化に取り組みます。



地域住民の交流



河川愛護団体の活動



道路サポーターの活動

(5) 生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の推進

市民の健康リテラシー（知識）の向上や健診受診・生活習慣の改善などによるヘルスケアを推進します。また、文化芸術・スポーツ活動などの生涯学習や社会参加を促進するとともに、学習活動と地域・ボランティア活動のマッチングも進めます。



新たなつながりによる支え合い (ソーシャルキャピタル) 創出事業

Key Performance Indicators

成果指標

北九州市・新ビジョンにおいては、都市の総合力を測る19の成果指標を定め、高い目標値(ストレッチゴール)を掲げました。この高い目標の達成に向け、市全体が一丸となって挑戦してまいります。

指標名	現状値	目標値 ^{※1} 2028年(度)	目標値の 考え方	重点戦略 ^{※2}		
				稼げるまち	彩りあるまち	安らぐまち
市内総生産額 (名目)	3兆6,696億円 (2020年度)	4兆円 (2033年度)	過去10年間(2010～2020年度)の年平均成長率の2倍以上を目指す	●	●	
従業者一人当たりの付加価値額	818万円 (2020年度)	900万円 (2033年度)	市内総生産額と同程度の増加率を目指す	●	●	
市民雇用者一人当たりの市民雇用者報酬	463万円 (2020年度)	500万円 (2033年度)	市内総生産額と同程度の増加率を目指す	●	●	
女性の就業率 (25～44歳)	79.8% (2022年)	82.0%	国が掲げる目標値の達成を目指す	●		●
観光消費額	827.3億円 (2022年)	1,800億円	令和元年(新型コロナウイルス感染症流行前)の水準(1,345億円)以上を目指す	●	●	
宿泊客数	172.7万人 (2022年)	260万人	令和元年(新型コロナウイルス感染症流行前)の水準(192.9万人)以上を目指す	●	●	
商業地地価(小倉) ※主要地点の平均地価	580,000円/㎡ (2023年)	871,000円/㎡ (2033年)	他の政令市の状況等を踏まえ、現状値の1.5倍を目指す	●	●	
商業地地価(黒崎) ※主要地点の平均地価	148,000円/㎡ (2023年)	227,000円/㎡ (2033年)	他の政令市の状況等を踏まえ、現状値の1.5倍を目指す	●	●	
将来の夢や目標を持っている子どもの割合	小学生 81.1% 中学生 66.8% (2023年度)	小学生 85.0% 中学生 70.0%	政令市1位の水準を目指す		●	
合計特殊出生率	1.46 (2022年)	1.8を見据え 政令市 1位	国の指標である「未婚者の平均希望子ども数」の1.8の達成に向けて政令市1位を目指す			●

指標名	現状値	目標値 ^{※1} 2028年(度)	目標値の 考え方	重点戦略 ^{※2}		
				稼げるまち	彩りあるまち	安らぐまち
健康寿命	男性 71.9年 女性 75.6年 (2019年)	男性 76.0年 女性 77.0年	政令市1位の水準を目指す			●
社会課題を意識し、日常生活の中で解決に向けた行動に取り組む市民の割合	40.4% (2022年度)	60%	—	●	●	●
地域活動に参加したことがある市民の割合	50.9% (2023年度)	60%	—			●
安全なまちと認識している市民の割合	86.0% (2022年度)	90%	—			●
北九州市に住み続けたいと思う市民の割合	83.8% (2022年度)	90%	—	●	●	●
北九州市への誇りや自信があると答えた市民の割合	55.0% (2022年度)	80%	—	●	●	●
北九州市での生活全般に満足している市民の割合	77.1% (2022年度)	85%	—	●	●	●
社会動態	▲206人 (2023年)	+1,000人	特に20、30代の社会動態の改善により、社会動態のプラス幅の拡大を目指す	●	●	●
推計人口	916,241人 (2023年10月1日)	将来推計人口を上回る人口	実際の人口が5年ごとに推計された将来人口を上回ることにより、人口の減少傾向の改善を目指す	●	●	●

※1 各指標の目標年次は2028年(度)。ただし、目標値に括弧書きのある指標は、当該括弧に記載の年(度)。

※2 各指標に特に関連する重点戦略に○を記載。

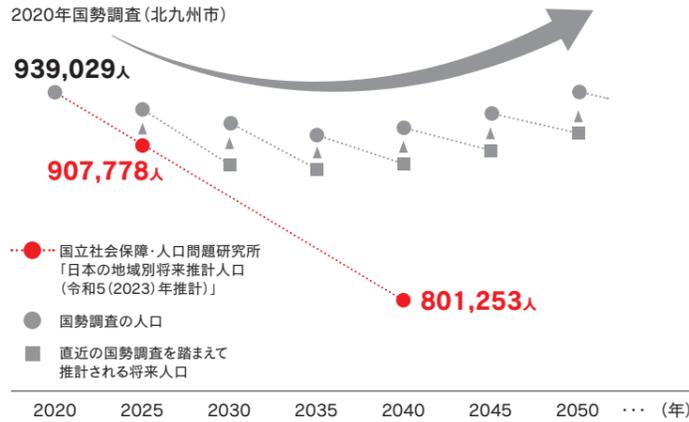
人口増に向けた道筋

経済成長の実現を図るとともに、都市のイメージアップに取り組み、20代や30代の若い世代の挑戦を後押しし、その定着などを促すことにより、社会動態のプラス幅の拡大に取り組んでいきます。

さらに、子育てや教育、福祉、文化芸術、スポーツ、住宅、交通などのハード・ソフト両面で生活環境の向上にも取り組み、中長期的な視点で、出生数の増加による自然動態の改善にもつなげていきます。

こうした考えの下、3つの重点戦略と「成長と幸福の好循環」により、5年ごとに国勢調査を踏まえて推計される将来人口を、常に実際の人口が上回る歩みを積み重ねていくことで、まずは、人口減少のトレンドを増加に転換させ、「100万都市復活」に向けた道筋をつくっていきます。

将来推計人口を常に上回るイメージ



なぜ、人口を増やさなければならぬのか？

市民が日常生活を送るために必要な各種サービスは、一定の人口規模の上に成り立っており、人口減少が続くことは、将来の社会経済活動に大きな影響を及ぼします。社会経済活動を将来にわたって持続させるためには、人口減少を食い止め、増加への転換に向け、産学官民が一体となって、産業競争力の向上や生活環境の充実など、都市の総合力を高めていくことが不可欠です。

市政変革による基盤づくり

北九州市は、社会経済上及び財政上の様々な課題に直面しており、未来への挑戦を続ける都市としての持続可能性を保ち、安心安定した生活環境を次世代に引き継ぐためには、行財政運営のあり方を変革する必要があります。

このため、「北九州市政変革推進プラン」に基づき、市政運営そのものの変革につなげることを目標とした「市政変革」の取組を進めます。

これは、「もつぱら『削る改革』ではなく、未来を『創る改革』」とし、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指します。

この取組を着実に進めることで、「一歩先の価値観」を体現できる都市であり続けるための基盤づくりを行います。

市政変革の取組は市ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisei/menu05_00456.html



北九州市・新ビジョンの策定における市民参画

北九州市・新ビジョンの策定にあたっては、未来の北九州市について市民の皆様と一緒に考えるため、たくさんの方々からご意見をいただきました。これらのご意見は、構想・計画の策定だけでなく、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

	取組	結果
市民・団体	ミライ・トーク ・各区 ・属性別(女性・子育て世代・若者) ・全市版	908人 9回 49人 4回 610人 2回
	アンケート ・市ホームページや郵送での受付、 ミライ・トーク会場配布 ・小4～中学生の児童生徒および保護者	約45,000人
	60代以上の市民へのインタビュー	48人
	関係団体へのヒアリング	76団体
	素案に対する市民意見募集(パブリックコメント)	138人 362件
	大好きな「今」と「ミライ」のまちの絵コンテスト	141点
	有識者	北九州市新ビジョン検討会議
北九州市アドバイザーとの意見交換		10人
有識者へのインタビュー		53人



北九州市新ビジョン検討会議



ミライ・トーク(若者)



ミライ・トーク(全市版)



大好きな「今」と「ミライ」のまちの絵コンテスト最優秀作品

市民の皆様からいただいたご意見等は市ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shisei/menu05_00191.html



Character-driven city planning

7つの個性が輝くまちづくり

北九州市は世界に類を見ない五市の対等合併により誕生しました。成り立ちや歴史の異なる旧五市の特色は現在7区の個性として受け継がれており、その多様性は北九州市の大きな特長の一つです。各区が持つ地域資源を生かし、磨き上げることで、7区のそれぞれの個性が輝く、魅力あるまちづくりを進めていきます。さらに、区域を越えた地域間の連携を図りながら、北九州市全体の魅力向上と活性化につなげていきます。

Wakamatsu 若松区

石炭積出港の歴史や文化、豊かな自然、多様な産業の集積、学術研究都市など、若松ならではの多様な魅力を生かしたまちをつくります。



Yahatanishi 八幡西区

中心市街地の黒崎地区、学園都市の折尾地区など、特長ある地域特性のほか、長崎街道の歴史や伝統的な祭りなどの地域資源を生かした魅力あるまちづくりを推進します。

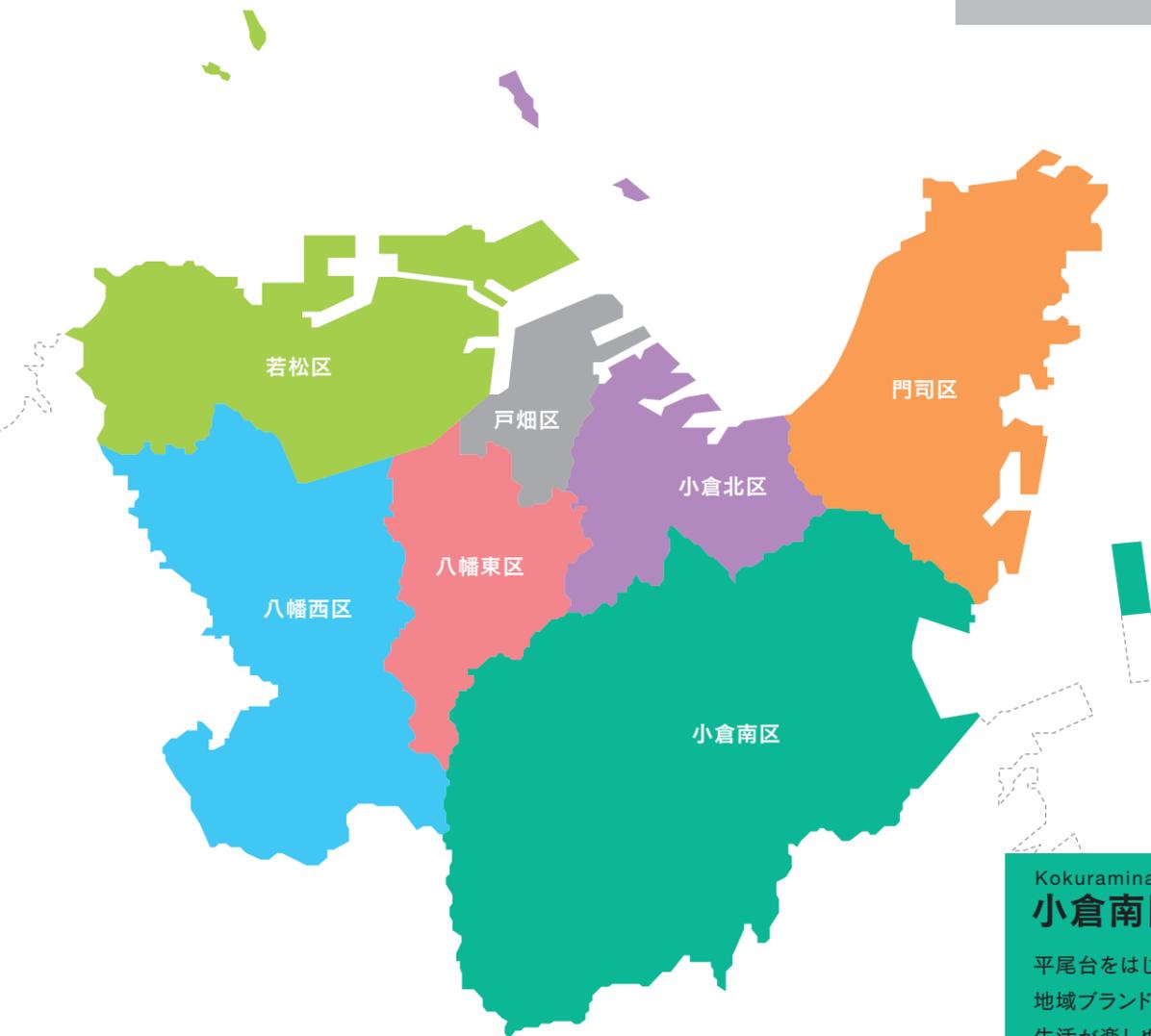


Yahatahigashi 八幡東区

東田地区など、各地域の連携により産業や観光の振興を図るとともに、製鉄のまちとして培ったシビックプライドや地域・市民・企業の力を育み、サステナブルなまちづくりを推進します。



※写真提供：日本製鉄九州製鉄所（一般には非公開の施設です）



Tobata 戸畑区

福祉と文教のまちの価値をさらに高めるとともに、歴史や文化を生かし、回遊性の高い緑豊かな街並みやにぎわいの創出を図ります。



Moji 門司区

関門エリアの価値向上や観光振興を図るとともに、観光と生活が融合した、訪れたい、住んでみたい、住み続けたいまちづくりに取り組みます。



Kokurakita 小倉北区

高い機能を持つ都市・交通基盤を生かし、若者やクリエイティブな人材が集まる北九州市の顔にふさわしい、にぎわいと活力がみなぎるまちをつくります。



Kokuraminami 小倉南区

平尾台をはじめとする豊かな自然を生かし、質の高い地域ブランドを創出するとともに、元気で生き生きとした生活が楽しめる、ずっと住んでいたいまちをつくります。

